

第51回コンピュータ会計能力検定試験

問題用紙

2級

(令和7年12月13日施行)

問題用紙は回収します。持ち帰り厳禁です。

解答用紙は、問題用紙にはさみ込んでありますので、試験担当者の指示にしたがって、
ていねいに取りはずしてください。

注 意

- ・試験開始の合図があるまで、問題用紙は開かないでください。
- ・この試験問題は、全部で15ページです。
- ・この試験の制限時間は1時間30分です。
- ・解答は、問題の指示にしたがい、すべて解答用紙の指定の位置に記入してください。
- ・解答用紙の所定の位置に、試験会場、氏名、受験番号を必ず記入してください。
記入もれがある場合には採点の対象とならない場合があります。
- ・印刷の汚れや乱丁、パソコン機器の不具合等で必要のある場合は手をあげて試験担当者に合図をしてください。
- ・会計データがデスクトップにあることを確認してください。
- ・第2問は、試験開始後、「中部電子販売株式会社」の会計データを、第3問は、
同じく「大地通販株式会社」の会計データを、パソコンにリストア（復元）し
てから処理をおこなってください。
- ・会計データにはパスワードがかかっています（パスワードは第2問参照）。
- ・会計ソフト以外のソフトウェア（表計算等）や電卓などの使用も認めます。
- ・消費税については、入力済みの取引データや、問題文の税額または税率にした
がうこと。

主 催 公益社団法人 全国経理教育協会
後 援 文 部 科 学 省

コンピュータ会計の知識

第1問 次の各文章において【 】に入るべき数字・字句、または【 】内の字句のうち正しいものを、(1)～(5)の解答欄に記入しなさい。(10点)

- (1) 市販会計ソフトは、会計取引を振替伝票画面や現金出納帳画面などから入力し、総勘定元帳や残高試算表などの会計情報を出力することを主目的とする。わが国ではこのようなシステムを一般会計システムと呼ぶことがあるが、これは【 特別会計・普通会計・総勘定元帳・残高試算表 】システムのことである。
- (2) 市販会計ソフトの導入処理では業種に応じた勘定科目を設定することができる。製造業において【 】報告書(明細書)を作成する場合には、導入処理において製造業特有の勘定科目を使用する設定を行わなければならない。
- (3) 小売業Y社の会計期間は1月1日～12月31日である。Y社は20X1年4月1日から新しい市販会計ソフトを導入することにした(月次決算をおこなう)。20X1年3月31日時点の残高試算表が作成されている。また、20X0年12月31日時点の商品在庫額が2,000,000円、20X1年3月31日時点の商品在庫額が1,500,000円とわかっている。Y社は導入処理にあたり、20X1年3月31日時点の残高試算表金額によって、各勘定残高を相手勘定「諸口」として振替伝票から入力することにした。また、20X1年1月1日～同年3月31日の純仕入高は4,000,000円であった。導入処理の振替伝票で「商品」勘定の借方に入力すべき金額は【 】円である。
- (4) 上記(3)と同じ条件のもとで、導入処理の振替伝票で1,500,000円を「期末商品棚卸高」勘定の【 借方・貸方 】に入力する。
- (5) 市販会計ソフトを使用している卸売業A社では、消費税を税抜経理方式で処理し、消費税額(10%)を内税入力(内税自動計算)している。期中において「消費税額が50,000円となる商品を掛で購入した」という取引を買掛帳画面(帳簿入力方式)で正しく入力した。その後、総勘定元帳画面で「仕入高」勘定を指定し、「税抜税込」表示切替で「税抜」を選択した場合、この処理結果として借方に表示される金額は【 】円である。ただし、この市販会計ソフトでは、消費税自動計算で生じた円未満の数値は切り捨てられる。

会計処理

第2問 中部電子販売株式会社の会計データを入力し、年次決算をおこなって、解答用紙に示した貸借対照表と損益計算書の各科目の金額を求めなさい。(50点)

中部電子販売株式会社は、2025年3月から会計ソフトによる処理を導入している。期首(2024年4月1日)から導入する前月(2025年2月)までの会計データ、および3月25日より前までの3月分の会計データは、入力処理済みである。

3月25日以降の会計データと決算資料(9ページから11ページ)にもとづいて、必要な会計処理をおこないなさい。なお、決算資料の中のXX円となっている金額は、各自が計算・判断すること。

<付記事項>

- (1) 会計期間は毎年4月1日から翌年3月31日までである。
- (2) 事業内容は、電子機器部品の卸売業である。
- (3) 取引先および取引条件等は次の表のとおりである。

得意先	あいち工業(株)	ぎふ工業(株)	しずおか工業(株)
売上計上日	検収書受領日	検収書受領日	検収書受領日
回収条件	月末締め・翌月末払い	月末締め・翌々月10日払い	月末締め・翌々月20日払い
回収方法	銀行振込	銀行振込	銀行振込

仕入先	ナゴヤ電子(株)	タジミ電子(株)	ハママツ電子(株)
仕入計上日	納入検収日	納入検収日	納入検収日
支払条件	月末締め・翌々月15日払い	月末締め・翌々月15日払い	月末締め・翌々月15日払い
支払方法	銀行振込	銀行振込	銀行振込

- (4) 入力にあたっては、入力済みのデータも参照すること。
- (5) 勘定科目および補助科目の新規設定はおこなわないこと。
- (6) 消費税処理の設定は税抜経理方式・内税入力であるが、「売上高」と「仕入高」は外税入力の設定としている。

この問題は、「**中部電子販売株式会社**」の会計データをパソコンにリストアしてから処理をおこなってください。

会計データにはパスワードがかかっています。

パスワード : p6j5

p (小文字/半角)

6 (半角)

j (小文字/半角)

5 (半角)

3月26日(水)

① 振込依頼書作成

総合振込依頼書									
東海銀行 殿					取組指定日		2025年3月31日		
ご依頼人名		フリガナ		チュウブデンシハンバイカブシキガイシャ		ご連絡先電話番号		33 - 123 - 4567	
中部電子販売株式会社 様					枚中/枚目		1 / 1		
送信番号	銀行	支店	預金種目	口座番号	振込先	金額	電信指定	手数料	照査印発行印
	岡崎	中町	普通	0654321	豊田産業(株)	55,000		440	
	熱海	本町	普通	0321321	三島興業(株)	99,000		440	
	山県	本店	普通	0456789	犬山不動産(株)	176,000		440	
	浜名	本店	普通	0123456	チタ運送(株)	138,600		440	
			普通						
					小計	件	468,600	小計	1,760
					合計		468,600	合計	1,760

(注) 豊田産業(株)は駐車場使用料, 三島興業(株)は倉庫家賃, 犬山不動産(株)は事務所家賃, チタ運送(株)は運送費の支払先である。

② 得意先から届いた振込通知書

2025年3月26日	
振込通知書	
中部電子販売株式会社 様	
あいち工業株式会社	
締切日	2025年2月28日
購入金額合計	〇件 3,850,000円
(2月1日~2月28日)	
(振込日: 2025年3月31日)	

3月29日(土), 30日(日)

休業日

3月31日(月)

① 小口現金の補充

小口現金補充のため、普通預金 164,230 円を引き出した。

小口現金出納帳集計表	
2025年3月21日～31日	
科 目	税 込 金 額
福 利 厚 生 費	0 円
広 告 宣 伝 費	13,860 円
交 際 費	13,640 円
旅 費 交 通 費	14,410 円
通 信 費	12,980 円
消 耗 品 費	14,410 円
事 務 用 品 費	13,310 円
修 繕 費	17,820 円
車 両 費	51,700 円
租 税 公 課	0 円
雑 費	12,100 円
合 計	164,230 円

2025年3月31日
出納係 印

② 精算

3月中に従業員に対して交通費の概算を手渡していた。本日すべての精算をおこない、残金 1,350 円を現金で受け取った。なお、精算した金額には、交通費(税込)以外に消耗品費 12,650 円(税込)と収入印紙代 5,800 円が含まれており、領収証を受け取った。

③ 普通預金通帳の記帳結果

普通預金					
	年-月-日	摘要	お支払金額	お預り金額	差引残高
1	2025. 3. 25	繰越残高			6,087,602
2	2025. 3. 25	引出	2,400,000		3,687,602
3	2025. 3. 25	電気	37,180		3,650,422
4	2025. 3. 25	電話	33,880		3,616,542
5	2025. 3. 26	水道	13,860		3,602,682
6	2025. 3. 26	電話	57,860		3,544,822
7	2025. 3. 26	振替	199,349		3,345,473
8	2025. 3. 27	水道	13,530		3,331,943
9	2025. 3. 27	電話	42,130		3,289,813
10	2025. 3. 28	振替	71,500		3,218,313
11	2025. 3. 28	振替	49,500		3,168,813
12	2025. 3. 28	振替	76,000		3,092,813
13	2025. 3. 28	引出	730,000		2,362,813
14	2025. 3. 31	引出	164,230		2,198,583
15	2025. 3. 31	振込		3,850,000	6,048,583
16	2025. 3. 31	振替	55,000		5,993,583
17	2025. 3. 31	振替	99,000		5,894,583
18	2025. 3. 31	振替	176,000		5,718,583
19	2025. 3. 31	振替	138,600		5,579,983
20	2025. 3. 31	振込手数料	1,760		5,578,223

(注) 2025. 3. 26 振替 199,349 円は東海銀行への返済。

2025. 3. 28 振替 71,500 円は美濃リースへの支払, 「リース料」勘定を使用する。

2025. 3. 28 振替 49,500 円は富士リースへの支払, 「リース料」勘定を使用する。

2025. 3. 28 振替 76,000 円はカリヤ損害保険への支払, 「保険料」勘定を使用する。

〔決算資料〕

(1) 残 高

① 現 金

手許現金残高	XXX, XXX 円
--------	------------

② 預 金

<u>残 高 証 明 書</u>	
中部電子販売株式会社 様	
2025年3月31日	
預金種類	残高
普通預金	5,578,223 円
定期預金	9,100,000 円
定期積金	8,400,000 円
2025年4月4日	
東海銀行 豊島支店	

③ 売掛金

得意先への確認済み残高

2025年3月31日

あいち工業株式会社	1,650,000 円
ぎふ工業株式会社	XX,XXX,XXX 円
しずおか工業株式会社	XX,XXX,XXX 円
合 計	XX,XXX,XXX 円

④ 買掛金

仕入先への確認済み残高

2025年3月31日

ナゴヤ電子株式会社	X,XXX,XXX 円
タジミ電子株式会社	14,421,000 円
ハママツ電子株式会社	X,XXX,XXX 円
合 計	XX,XXX,XXX 円

⑤ 預り金

源泉所得税	242,600 円
住民税	81,200 円
社会保険料	9,000 円

⑥ 長期借入金

5 ページ借入金返済予定表参照

(2) 棚卸処理

商品棚卸表

2025 年 3 月 31 日

種類	仕入単価	帳簿棚卸数量	実地棚卸数量	実地棚卸金額
T-10	1,300 円	300	300	390,000 円
H-20	1,500 円	200	200	300,000 円
U-30	1,700 円	100	90	XXX,XXX 円
B-40	2,000 円	400	400	800,000 円
D-50	2,300 円	300	300	XXX,XXX 円
合計				X,XXX,XXX 円

上記の棚卸表のとおり、実地棚卸の結果、U-30 が帳簿棚卸に対して 10 個不足していることが判明した。この不足分については、棚卸減耗として売上原価に含めることとする。

(3) 減価償却

次の固定資産台帳および減価償却明細表のデータにもとづいて、当期の減価償却費を計上する。

固定資産台帳・減価償却明細表

2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日

(金額単位：円)

種類	取得年月日	取得価額	償却方法	耐用年数	償却率	当期償却額
(車両運搬具)						
乗用車	2023 年 1 月	3,100,000	定率法	6	0.333	631,222
乗用車	2024 年 2 月	3,200,000	定率法	6	0.333	1,006,459
計		6,300,000				X,XXX,XXX
(備品)						
エアコン	2022 年 2 月	300,000	定率法	6	0.333	41,977
応接セット	2022 年 2 月	320,000	定率法	8	0.250	43,125
計		620,000				XX,XXX
合計		6,920,000				X,XXX,XXX

(4) その他

① 運送費

運送費は 10 日締めで月末払いとしており、締め日以降（3 月 11 日から 31 日まで）に発生した運送費について、「未払費用」勘定を利用して費用計上する。

3 月 11 日～31 日分の運送料計算書の合計額	134,200 円（税込金額）
---------------------------	-----------------

② 地代家賃

「地代家賃」勘定の補助元帳には、1 か月分の前払い分が含まれているため、それぞれ 13 か月分の家賃が計上されている。前払い分を「前払費用」勘定に振替処理する。

事 務 所	176,000 円（税込金額）
倉 庫	99,000 円（税込金額）
駐 車 場	55,000 円（税込金額）

③ 消費税等の計上

当期の確定消費税の金額は次のとおりである。

当期確定消費税額等	5,840,100 円
-----------	-------------

前年 11 月に支払った消費税の中間納付額との差額を「未払消費税等」勘定に計上する。消費税の中間納付額は、11 月の「仮払消費税等」勘定の借方に計上されている。

なお、「仮受消費税等」勘定と「仮払消費税等」勘定との振り替えにより生じる端数差額は、雑収入とする。この雑収入は、消費税課税対象外として処理する。

④ 法人税等の計上

当期の法人税，法人都民税，法人事業税，地方法人特別税が次の金額に確定した。

	確定法人税額等
法 人 税	1,210,800 円
法 人 都 民 税	393,400 円
法 人 事 業 税 ・ 特 別 税	402,100 円
合 計	X,XXX,XXX 円

前年 11 月に支払った法人税，法人都民税，法人事業税等の中間納付額との差額を、「未払法人税等」勘定に計上する。

なお，中間申告による納付額合計は，11 月の「仮払法人税等」勘定の借方に計上されている。

会計情報の活用

第3問 次の各文章において、【 】に入るべき数字、または【 】内の「ア」と「イ」のうち正しいものの記号を、(1)～(10)の解答欄に記入しなさい。大地通販株式会社に関する問題は、会計ソフトに組み込まれた機能进行操作してえられた数値にもとづき解答すること。ただし、そのうち会計ソフトの機能から解答を直接えられない問題については、別途計算したり、判断したりして解答すること。なお、金額以外の数字による解答については、求める表示形式上の小数第2位を四捨五入し、小数第1位まで記入すること。(20点)

<経営分析>

- (1) 大地通販株式会社の決算を含む第4期末における売上高経常利益率は1月末残高によるものに比べて好転【ア. している。 イ. していない。】
- (2) 大地通販株式会社の第4期12月末残高における流動比率は【 】%である。
- (3) 大地通販株式会社の決算を含む第4期末における総資本営業利益率は【 】%である。
- (4) 大地通販株式会社の1月～3月の仕入高合計額は、10月～12月の合計額に比べて【 】%増加した。

<損益分岐点分析>

- (5) 大地通販株式会社は、同社の損益計算書に計上される営業費用の固定分解にあたって、売上原価項目は変動費比率100%、荷造運賃と支払手数料は変動費比率60%、旅費交通費は固定費比率80%、その他の営業費用は固定費比率100%としている。また、営業外収益・営業外費用・特別損益を構成する各項目は分析に用いない。決算仕訳を含む第4期全体の損益分岐点売上高は【 】円である。
- (6) 大地通販株式会社の第4期上半期(4月～9月)の中で損益分岐点比率の観点から最も業績が良かった月は【 】月である。
- (7) 大地通販株式会社は第5期の利益計画を策定する際、決算仕訳を含む第4期の実績に対して、営業利益を20%増加、固定費を15%減少、変動費率を10%減少と予測し第5期を試算する。この試算による第5期の売上高は【 】円である。
- (8) 大地通販株式会社の上記(7)の試算による第5期の安全余裕率は、第4期実績に比べて【ア. 悪化 イ. 好転】する。

<予算管理>

- (9) ワールド商事(株)の当期の売上高予算はX部門が1,000,000円、Y部門が1,400,000円、Z部門が1,200,000円であった。当期の売上高予算差異はX部門が400,000円の有利差異、Y部門が200,000円の不利差異、Z部門が200,000円の有利差異であった。当期実績の売上高売上総利益率はX部門が20%、Y部門が40%、Z部門が20%であった。当期実績について、3部門の金額を合計した全社の売上原価率は【 】%である。
- (10) 上記(9)の条件のもとで、当期実績の売上原価が最も小さい部門の当期実績の売上総利益は【 】円である。

第4問 A社における7月の資料1の実績貸借対照表および実績損益計算書（14 ページ）から、資料2の実績資金繰り表および資料3の資金増減原因表（15 ページ）を作成し、下記の間1と間2に答えなさい。（20 点）

<実績資金繰り表>

問1 7月の資金繰り表について、次の文章中の【 】に入るべき数字、または【 】内の「ア」と「イ」のうち正しいものの記号を、(1)～(5)の解答欄に記入しなさい。

- ・ 経常収入合計は、【 (1) 】円である。
- ・ 営業経費支払は、【 (2) 】円である。
- ・ 経常収支過不足は、【 (3) 】円過剰である。
- ・ 設備等収支過不足は、【(4) ア. 過剰 イ. 不足】である。
- ・ 収支過不足合計は、【 (5) 】円過剰である。

<資金増減原因>

問2 7月の資金増減原因について、次の文章中の空欄に適切なものを語群から選び、(6)～(10)の解答欄に記号で記入しなさい。

- ・ 資金の増加原因を金額の大きい順に列挙すると、 , , があげられる。
- ・ 資金の減少原因を金額の大きい順に列挙すると、 , があげられる。

語 群

ア	売掛金の増加	イ	買掛金の増加	ウ	損失の発生	エ	買掛金の減少
オ	利益の発生	カ	設備の処分	キ	借入金の返済	ク	在庫の増加
ケ	在庫の減少	コ	設備の購入	サ	借入金の増加	シ	売掛金の減少

<資料1>

<A社>

7月の実績貸借対照表

(単位：円)

勘定科目	前月繰越	当月借方	当月貸方	当月残高
現金・預金	6,337,500	19,842,000	18,847,500	7,332,000
売掛金	37,826,000	19,862,000	19,842,000	37,846,000
商品	2,342,000	2,132,000	2,342,000	2,132,000
備品	1,500,000	200,000		1,700,000
減価償却累計額	-115,000		33,000	-148,000
資産合計	47,890,500	42,036,000	41,064,500	48,862,000
買掛金	28,863,200	12,926,200	13,156,400	29,093,400
短期借入金	12,800,000	220,000		12,580,000
資本金	5,000,000			5,000,000
利益剰余金	1,227,300		961,300	2,188,600
負債・純資産合計	47,890,500	13,146,200	14,117,700	48,862,000

<A社>

7月の実績損益計算書

(単位：円)

勘定科目	前月繰越	当月借方	当月貸方	当月残高
売上高	50,126,300		19,862,000	69,988,300
売上原価				
期首商品棚卸高				
当期商品仕入高	32,432,800	13,156,400		45,589,200
合計	32,432,800	13,156,400		45,589,200
期末商品棚卸高	2,342,000	2,342,000	2,132,000	2,132,000
売上原価	30,090,800	15,498,400	2,132,000	43,457,200
売上総利益	20,035,500		6,495,600	26,531,100
販売費一般管理費				
人件費	8,929,000	2,894,300		11,823,300
減価償却費	115,000	33,000		148,000
営業経費	9,695,800	2,591,200		12,287,000
販売費一般管理費計	18,739,800	5,518,500		24,258,300
営業利益	1,295,700		977,100	2,272,800
営業外費用				
支払利息	68,400	15,800		84,200
経常利益	1,227,300		961,300	2,188,600
当期純利益	1,227,300		961,300	2,188,600

(注)・売上と仕入はすべて掛取引で、値引・返品および現金販売・現金仕入はない。

- ・売掛金の回収・買掛金の支払は、すべて預金口座への振込でおこなっている。
- ・人件費・営業経費・利息の支払は、すべて現金または預金でおこなっている。
- ・備品は、現金で購入している。

<資料 2 >

< A社 > 7月の実績資金繰り表

(単位：円)

資金繰り項目		7月
経 常 収 支	現金売上	
	売掛金回収	
	営業外収入	
	経常収入合計	
	現金仕入	
	買掛金支払	
	人件費支払	
	営業経費支払	
	営業外費用	
	経常支出合計	
	経常収支過不足	
設 備 等 収 支	設備等売却収入	
	設備等購入支出	
	設備等収支過不足	
財 務 収 支	借入金借入	
	借入金返済	
	財務収支過不足	
収支過不足合計		
月初現預金残高		
月末現預金残高		

<資料 3 >

< A社 > 7月の資金増減原因表

(単位：円)

	資金増加	資金減少
損益の状況		
非資金費用		
売掛金の状況		
買掛金の状況		
在庫の状況		
設備等の状況		
借入金の状況		
合計		
資金の増減結果		

第51回コンピュータ会計能力検定試験 解答用紙

2 級

(令和7年12月13日施行)

- この解答用紙は、試験担当者の指示にしたがって、
ていねいに取りはずしてください。
- 解答は、すべて解答用紙の指定の位置に記入してくだ
さい。



主 催 公益社団法人 全国経理教育協会
後 援 文 部 科 学 省

解答用紙は、試験担当者の指示にしたがって、ていねいに取りはずしてください。

第51回コンピュータ会計能力検定試験 解答用紙

2 級

試験会場	
氏名	受験番号

得点

コンピュータ会計の知識

第1問 (10点)

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)

コンピュータ 会計の知識

第2問【会計処理】は、右ページの解答欄に記入すること。

会計情報の活用

第3問 (20点)

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
(6)	(7)	(8)	(9)	(10)

第4問 (20点)

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
(6)	(7)	(8)	(9)	(10)

会計情報の活用

会計処理

第2問 (50点)

中部電子販売株式会社

貸借対照表 (2025年3月31日) の科目と金額

(単位: 円)

	科 目	金 額
(1)	現 金	
(2)	売掛金 (ぎふ工業株分)	
(3)	流 動 資 産 合 計	
(4)	買掛金 (ハママツ電子株分)	
(5)	未 払 消 費 税 等	

中部電子販売株式会社

損益計算書 (2024年4月1日
~2025年3月31日) の科目と金額

(単位: 円)

	科 目	金 額
(1)	売 上 総 利 益	
(2)	荷 造 運 賃	
(3)	通 信 費	
(4)	雑 収 入	
(5)	当 期 純 利 益	

会計処理

解答用紙は、試験担当者の指示にしたがって、ていねいに取りはずしてください。

第51回コンピュータ会計能力検定試験 標準解答

2 級

試験会場	
氏名	受験番号

得点

コンピュータ会計の知識

第1問 (@ 2点 × 5 = 10点)

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
総勘定元帳	製造原価	1,500,000	貸方	500,000

コンピュータ 会計の知識

第2問【会計処理】は、右ページの解答欄に記入すること。

会計情報の活用

第3問 (@ 2点 × 10 = 20点)

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
ア	161.4	8.5	10.7	229,975,029
(6)	(7)	(8)	(9)	(10)
5	179,842,052	イ	74.0	480,000

第4問 (@ 2点 × 10 = 20点)

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
19,842,000	2,591,200	1,414,500	イ	994,500
(6)	(7)	(8)	(9)	(10)
オ	イ	ケ	キ	コ

会計情報の活用

会 計 処 理

第2問 (@ 5点 × 10 = 50点)

中部電子販売株式会社

貸借対照表 (2025年3月31日) の科目と金額

(単位: 円)

	科 目	金 額
(1)	現 金	263,068
(2)	売掛金 (ぎふ工業株分)	16,445,000
(3)	流 動 資 産 合 計	70,037,291
(4)	買掛金 (ハママツ電子株分)	8,690,000
(5)	未 払 消 費 税 等	3,113,900

中部電子販売株式会社

損益計算書 (2024年4月1日 ~ 2025年3月31日) の科目と金額

(単位: 円)

	科 目	金 額
(1)	売 上 総 利 益	82,786,800
(2)	荷 造 運 賃	7,140,000
(3)	通 信 費	1,201,500
(4)	雑 収 入	60
(5)	当 期 純 利 益	4,626,118

会計処理